

樹脂成形メーカーが 3Dプリンターで飛躍を狙う

- 納期 相談
- 企画力 自信有
- オンライン ワン技術
- メイドイン ジャパン
- 試作可 小ロット
- 量産 対応



ストラタシス3Dプリンター

業務内容
造形サービスを事業化、樹脂加工のニーズ取り込む

プラスチック製品の成形加工メーカー。長年、機能性フィルムを巻くロールに使われるプラスチック部品を作ってきた。汎用樹脂であるポリプロピレンを材料にした射出成形を得意としている。

平成25年からは米ストラタシス製の3Dプリンターによる造形サービスも始めた。付随して3D・CADや3Dスキャナも導入し、平面図や実物から3次元データへの変換などの事業化を進めている。プリンター出力後の処理や、量産への展開などで自社のノウハウを展開していく考え。

強み
長期納入実績、SNSを活用して人脈拡大も

機能性フィルムの大手メーカー向けには、20年超継続して納入してきた実績がある。この間に蓄積した樹脂成形加工のノウハウが技術力の源泉となっている。藤川勝也社長は就任以後、SNS（ソーシャルネットワークサービス）を積極的に活用し、会社のアピールや人的ネットワーク構築につなげている。異業種交流をきっかけに工場見学なども受け入れるなど、外に開かれた樹脂メーカーを志向している。目下、「樹脂のプロ」として認知度の拡大を図っているところ。

ブランド
自社ブランド、3Dプリンターが未来を拓く

樹脂成形技術を生かせる新たな事業としてフォーカスするのは、3Dプリンターを活用した3次元造形の受託事業。藤川社長は、次代の柱に育てたいと考え

ている。3Dプリンターの可能性は未知数。だが、福祉分野では、ユーザーニーズに合わせた「一品モノ」の造形物に対する需要は必ずあると確信している。さらには医療分野にも進出を伺う。自社のサービスを提供するに当たり、まずはブランド確立が重要と考え、3次元造形に関する事業を「マジカルハート」と名付けて商標を取得した。

今後の展望
扱う樹脂を拡大し、樹脂製品を一貫提供体制も

汎用樹脂がメインであったが今後は、異なる材料にも手を広げ、顧客ニーズへの対応力向上につなげたい方針。平成26年秋には、そのための樹脂成形設備の刷新にも取り組んだ。安定生産できるノウハウが手に入れば、今後、強みとなっていくはずだ。将来、狙うは、3Dプリンターでの試作から、樹脂成形機による量産までをワンストップで対応できる体制の構築。試作したものを顧客と相談しながらCADで修正。そのデータを元に金型を作成することで、金型の後修正を不要とし、大幅に時間短縮ができる。企画（スケッチの作成）から成形までのスピード対応こそが同社の強みだ。量産金型を委託する協力会社などとの連携も進め、新しい事業拠点や担い手の確保など本格的な事業展開に向けて準備を進めているところ。中小企業として前例の少ない「統合報告書」も作成。藤川社長は「大手ではできない、こまやかな顧客対応力を強みとしていきたい」との抱負を語る。



工場内部

COMPANY PROFILE

有限会社 藤川樹脂

大阪 26

当社の歴史

先代社長が昭和62年7月に創業しました。機能性フィルム用の樹脂成型品でこれまで仕事を続けてくることができましたが、将来の生き残りを考えると、いつまでも頼るわけにはいきません。3年前に代替わりをし、時代に対応した樹脂メーカーに挑戦しようと、講演などで情報発信、さらに新事業の開拓に努めています。

小所帯ですが発信することに重きを置き、アクティブであること、そして信頼性のある企業を目指します。

代表取締役 藤川勝也さん



■主な事業内容
プラスチック成形加工、3Dデータ加工・編集・作成・造形業

■主な取引先（納入先）
梱包資材商社、日用品メーカー、化学品メーカー

住所 / 〒587-0012 堺市美原区多治井 814
TEL / 072-362-5703
FAX / 072-362-8904
創業 / 昭和62年7月
設立 / 昭和62年7月
資本金 / 500万円
従業員 / 14名

<http://fujikawa-jushi.co.jp/>